

原油価格・物価高騰対策(生活者・事業者支援)

プレミアム付商品券等発行支援費補助金 6億2,300万円

コロナ過における原油価格・物価高騰による影響が懸念される中、景気回復の流れをさらに後押しするために、事業者の売上に直結するとともに、物価高騰に苦しむ市民を支援する取組みとして、商店街等が実施する**プレミアム付商品券の発行**事業を支援します。

※新型コロナウイルスの感染状況を十分配慮し、事業は実施いただきます

- ・対象者 商店街、各業界団体、
大規模小売店舗等(大型商業施設、スーパーマーケット等)
- ・プレミアム率: 上限30% ・補助率 9/10
- ・補助限度額

大区分	小区分	補助限度額
商店街等	参加店舗50店以上	2,000万円
	参加店舗50未満	1,000万円
大規模小売店舗等	10,000㎡以上	2,000万円
	4,000㎡以上10,000㎡未満	1,000万円



※大規模小売店舗等については、主に日用品等を取り扱う店舗を有する事業者に限る

「ゼロカーボンシティ長崎」の実現に向けた取組み

1億834万円

「ゼロカーボンシティ長崎」の実現に向けた取組みを推進するとともに、市民・事業者のエネルギー費用負担を軽減するため、電力購入を抑制する自家消費型の太陽光発電設備、電気自動車、省エネ家電等への更新の支援を行います。

■市民への支援 6,676万5千円

省エネ家電等への更新の支援

(対象機器：①エアコン、②冷蔵庫、③高効率給湯器、④LED照明器具のうち、1世帯1品目まで。補助額：①～③上限3万円、④上限5千円)

■事業者への支援 4,157万5千円

補助対象者：市内に店舗、工場、事業所を有する中小事業者

・太陽光発電設備、蓄電池の導入への支援 3,200万円

(対象設備：太陽光発電設備 4万円/kw (上限200万円)、
蓄電池 6万円/kwh (上限120万円))

・電気自動車、普通充電設備導入への支援 957万5千円

(対象設備：軽電気自動車 10万円、普通電気自動車 20万円、
普通充電設備 本体価格の1/4)



原油価格・物価高騰対策(事業者支援)

【単独】中小企業設備整備事業費補助金

省エネルギー設備等

1億5,000万円

エネルギーコストを削減し、経営の安定化を図るため、省エネルギー設備等への更新を行う市内中小事業者を支援します。



補助対象者	市内に本店、主たる事業所又は工場を有する中小事業者		
補助対象経費	既存設備と比較して、省エネルギー又は高効率効果により5%のコスト削減が見込まれる機械設備 (購入費、据付工事費、運搬費、既存設備等の撤去工事費、処分費など)		
対象設備例	工作機械、変圧器、加工機械、産業用モータ、プレス機械、プラスチック加工機械、冷凍・冷蔵設備、厨房設備、高効率空調、ボイラーなど		
補助率	2/3	補助限度額 (下限額)	製造業：500万円 非製造業：300万円 (100万円) (100万円)

コロナ禍からの社会・経済の復興(感染拡大防止対策)

施設内療養支援事業費補助金 9,360万円

新型コロナウイルス感染症第7波では、病床がひっ迫した影響で、障害者支援施設等が施設内で療養を行うケースが発生し、通常業務に加えて感染対策徹底等の追加的な業務による施設の負担が増加しました。

そのため、障害者支援施設等に対して補助を行うことで、療養の質及び障害福祉サービスの継続的な提供体制を維持できるよう支援します。

補助対象施設

- 障害者支援施設（入所施設）
- 共同生活援助・宿泊型自立訓練施設
- 短期入所（単独型）施設

補助対象期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日

補助額

- 療養者1名につき1万円/日 ※限度額15万円
 - 療養者数が一定数を超えた場合、療養者1名につき1万円/日を加算
- ※限度額：小規模施設（定員29名以下）200万円/施設
大規模施設（定員30名以上）500万円/施設

コロナ禍からの社会・経済の復興(ポストコロナ対策)

電子契約システム導入

1,896万5千円

コロナ禍において、テレワークが強く推奨され、書面・押印・対面の見直しが求められている中、契約事務の効率化や事業者の利便性向上を図るため、電子契約システムを導入し、入札参加資格申請から契約締結までの契約全般の事務について一貫したデジタル化を行います。

現状の課題

- ・ 契約書について、事業者が印刷・製本・押印・印紙貼付けして作成したうえで、郵送や持参により提出しており、完全なデジタル化に至っていない。



経過

- ・ 電子調達システムの構築業者である東芝デジタルソリューションズ（株）と連携協定を締結（令和3年9月27日）し、電子契約システムのパイロット版について、実証実験を行い連携・協力して開発

<契約事務の流れ>

入札参加資格申請 → 公告 → 入札・開札 → 落札者決定

電子調達システム（導入済）

→ 契約締結

電子契約システム



<導入時期(予定)>

令和5年6月～

建設工事（全件）

建設コンサル（全件）

令和5年9月～

物品調達等（一部）

導入効果

- ・ 業務量削減（11,432時間/年（見込））
- ・ 収入印紙額の削減（15,531千円/年（見込））
- ・ テレワーク実施体制の環境整備
- ・ 保管・管理の効率化

令和4年度11月補正予算

【単独】離島・過疎地域振興対策事業費 野母崎田の子地区再整備

2,000万円

長崎のもぎき恐竜パークには、オープン以降、想定以上の多数の来場者が訪れ、駐車場が不足していることから、恐竜パーク庭球場を廃止し、駐車場を整備します。

工事の概要

- ・ 駐車場整備一式：一般車約80台分
（面積約2,000㎡）
- ・ 利用可能時期：令和5年4月末

（参考）恐竜博物館年間入館者数

（目標値）

- ・ 年間約12万人→約25万人
（R3.10.29～R4.9.30
までの入館者数）

混雑状況



令和4年度11月補正予算

【補助】公営住宅建設事業費

日見大曲・宿町団地

960万円

（債務負担行為 令和5年度～令和6年度 2,240万円）

居住水準の向上を図り、住宅に困窮する市民の生活の安定と地域のまちづくりに寄与するため、日見大曲アパート、日見大曲、宿町団地の建替えに着手します。（578戸→約290戸）

第1期整備スケジュール

〈 令和4年度～6年度 〉

アドバイザー委託

事業者の決定

〈 令和6年度～9年度（予定） 〉

設計・建設工事

〈 令和9年度（予定） 〉

入居者の移転

アドバイザー委託の主な内容

- 実施方針の策定・公表
- 事業者の募集要領等の作成
- 事業者の募集・選定・公表
などの支援業務



第1期は、PPP/PFI手法により民間の知識やノウハウを活用して整備を行うにあたり、事業者募集の条件などの整理を行うため、アドバイザー業務を委託します。